

# 伊那谷再発見（子どもの未来応援団報告書）

表題：〇〇の部屋

学校・団体名：UTプロジェクト

活動グループ名：

担当者・教諭名：齋藤 俊介

活動人数：50人

## （1）活動を始めた理由

一般社団法人こどものみらい舎が立ち上げ、JR木ノ下駅前にあるUTパレットを拠点として、地元の中高生を中心に多世代の居場所づくりを目指す活動しているのが「UTプロジェクト (Under the Tree PROJECT)」です。10代を中心とした子どもたちが主体的に、自らの挑戦したいことを形にしていく。大人はその姿を見守り、伴走するを実現する場を作る必要を強く感じたので。

## （2）活動内容・活動の写真

### 【11/21 タクシーの運転手さんと小学生の交流】

～〇〇高校生の言葉より

「今日もパン売り切れしました。毎回、小学生の子の勇気に助かってます。今日はタクシーの運転手の方にチラシを配ったり、駅で待ってる高校生の方に声をかけたりしました。タクシーの運転手の方は『会社の人にも宣伝しておくね』と言ってくれました。嬉しいです。」



遊ぶ小学生たち、テスト前の高校生はコタツで勉強。この日は教育事務所の方も見学に来てくださり、この居場所に感激してくれました。



#### (4) 活動結果

- ・パレット 絵を描くときに使う板。様々な色の絵の具をのせて、混ざり合う場所。

この名の通り、多様な人々がお互いの存在を認め合い、ひとりとひとりが触れ合って、繋がって、何か生まれる場所。それが「UT パレット」です。

そしてこの UT パレットの 2023 年度。高校生達を中心に二桁以上のプロジェクトが立ち上がり、1000 人を超える参加者が生まれました。

特にこの〇〇の部屋を通じて小学生がパレットに滞在するようになり、高校生が小学生の学習指導を行っていたり、世代を超えてボードゲーム、カードゲームで遊んだり、その様子をそっと見守る大人の町民がいたり混ざり合う場を実現してきました。

白鳥箕輪町長もイベントがあると足しげく通い、ブログにその様子を書いて、一ファン、一市民として応援してくれるようになっていきます。